

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和 4 年 11 月 18日

事業所名： 多機能型障がい児通所支援事業所みなみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	6	児童が1人で落ち着ける個室かスペースがあると良い。広々としたスペースを確保する事は難しい為、物を置かない、整理整頓を心がけている。
	2	職員の配置数は適切であるか	12		職員の人数が多く、児童を見守り易い。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	3	全盲児童への配慮が足りないと思う。トイレが1か所しかない為、児童がゆっくりトイレを使用できない。
業務改善	4	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12		毎年、行っております。
	5	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12		毎年、行っております。
	6	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12		内部研修を毎月行っている。療育等について、外部からの講師を招いての研修があると良い。
適切な支援の提供	7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12		保護者との連絡は常に密に行っております。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12		毎日の活動内容を確認し、工夫して提供している。3か月内で重複しないよう、チェックしている。
	9	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12		天候に合わせた活動ができています。利用時間を把握し、活動内容を検討している。
	10	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	12		子どものレベルに応じた活動がもう少し必要だと思う。
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをしその日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12		毎日打ち合わせを全体で行った後、各部屋でもミーティングを行っている。
	12	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12		事業所内での担当者会議を毎週行っています。
	13	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12		職員皆での話し合いが出来ている。
関係機関や保護者との連携	14	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	12		改善すべき点はあるが、情報の共有は出来ている。
	15	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	12		現在受け入れなし
	16	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	12		情報提供を必ず行っています。
	17	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12		送迎時の引き渡しの際、保護者とやり取りするよう心がけている。
	18	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12		トラブルや怪我などは、迅速に保護者との連絡を心掛けています。
	19	個人情報に十分注意しているか	12		シュレッダーを設置している。
非常時等の対応	20	緊急時対応、防犯対応、感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか	11	1	各マニュアルを作成し、毎日消毒も実施しているが、保護者へは周知していない。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12		年に2回防災訓練を実施している。毎月、避難訓練を活動に取り入れています。
	22	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12		急な行動での対応を学びたい。委員会を中心に適宜研修を実施している。
	23	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	12		保護者より同意書を頂いております。
	24	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12		現在、食物アレルギーの児童は在籍なしです。
	25	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12		前日のヒヤリハットの確認をすると共に、月末に周知と再発防止の徹底を心がけている。